



学校便り 琢磨

令和3年度 第24号 R3.12.16 三豊市立詫間小学校

栄光を讃える！

敬称は略します。おめでとうございます。

校内マラソン大会 入賞者

【1年男子】 1位 石原 樟大
 2位 糸 星慈
 3位 宮本 琉杜
 4位 大西 純聖
 5位 大谷 琉真
 6位 樽井 陸

【2年女子】 1位 犬伏莉々綺
 2位 定岡 照磨
 3位 藤川 紅葉
 4位 曾根愛央衣
 5位 磯崎 唯乃
 6位 林本 依叶

【4年男子】 1位 犬伏 玲煌
 2位 林 展一郎
 3位 田坪 希星
 4位 真鍋 清悟
 5位 百々 壯太郎
 6位 津々池大地

【5年女子】 1位 松田 歩実
 2位 米田 萌音
 3位 山口 梨夏
 4位 中村 春花
 5位 安部ひなた
 6位 田尾 苺紅

【1年女子】 1位 高橋 由乃
 2位 風間つばさ
 3位 磯崎 日快
 4位 富山ひすい
 5位 小林和香奈
 6位 藤村実華子

【3年男子】 1位 吉田 貫汰
 2位 三崎 陽登
 3位 片岡 洸太
 4位 川原 空澄
 5位 横下 蓮
 6位 宮本 航瑠

【4年女子】 1位 伊瀬日南子
 2位 宮武 舞雪
 3位 大西 那央
 4位 東 和花
 5位 西原 詩
 6位 板倉ひなた

【6年男子】 1位 田平 輝一
 2位 資延侑梨弥
 3位 亀井 惺天
 4位 糸口 史哉
 5位 横下 莉久
 6位 大山 斗亜

【2年男子】 1位 百々 勇太
 2位 山本 漣星
 3位 資延 椿希
 4位 岡崎 空雅
 5位 中原 彪雅
 6位 塚本 陽生

【3年女子】 1位 池田 絢
 2位 本條 莉梨
 3位 詫間 萌奈
 4位 大谷 楓渥
 5位 三島 悠愛
 6位 長池 杏夏

【5年男子】 1位 大谷 優雅
 2位 藤川 然
 3位 曾根 碧人
 4位 定岡 凡悟
 5位 水口銀二郎
 6位 尾崎 蓮斗
 6位 柑本 海斗

【6年女子】 1位 山地 愛子
 2位 渡辺 紗羽
 3位 小森 蘭
 3位 松村みそら
 5位 山口有愛琉
 6位 須江ひなの



三豊市よい歯の児童生徒審査会

6年 河原 龍空

小玉 夏穂

『公共建築の日』三豊市児童絵画展

4年 香川 湖南

令和3年度 火災予防ポスター 入賞者

【優秀賞】 2年 藤原 和紗 1年 本條 照

【佳作】 5年 黒川 和紗 4年 切東 夏望 3年 本條 莉梨 1年 磯崎 日快

教職員の異動

細川 綾伽 支援員が、都合により12月6日付で退職いたしました。2学期最初から、約3か月間お世話になりました。ありがとうございました。

今週から、安藤 美智（あんどう みち）支援員が赴任いたしました。安藤先生は、昨年度、桜組の担任を1月程していただきましたが、この度、支援員として週2日間（月曜日・火曜日）、1年松組、2年竹組、2年梅組の学習や生活の支援をしていただくこととなりました。（右の写真 安藤支援員）

よろしく願いいたします。



「真鍋校長の独り言」の代わりです。

修学旅行！ — その裏舞台 —

昨年度から、コロナ禍ということで様々な行事が中止となったり、制限のある中での開催となったりしております。小学校生活6年間の中でも、最も思い出に残る行事である「修学旅行」につきましても例外ではありません。昨年度は、2回に分けての日帰り旅行となりました。しかも、2回目を実施できたのは卒業式を目前にした3月でした。

昨年度、5年生の時に宿泊学習が実施できていない現在の6年生には、今年は、何とか例年通りの修学旅行をしてもらいたいと考えておりました。しかし、新型コロナウイルスの感染状況は、今年度になっても好転せず、京阪神への旅行は断念せざるを得なくなりました。多くの学校が、県内旅行や宿泊をしない日帰り旅行に転換する中で、私は何とか1泊2日で旅行することはできないものかと考えました。感染状況は落ち着いていたとしても、県外泊となって、もし体調に異変が出た場合、最悪の事態を想定すると、香川県に帰って来ることができなくなるおそれもあります。ましてや、旅行の実施時期に感染が拡大していたら県外に行くことすら困難になります。そこで、まず考えたのが、県内に1泊し、できれば県外の目的地を設定するということでした。感染状況によっては、県内泊の県内旅行、または、日帰りの県内旅行へ移すことができるようにとも考えたのです。

滋賀県のホテルをキャンセルした後、県内の宿泊施設を旅行会社に無理を言って探していただきました。そして、高松市のホテルを何とか予約することができたのです。部屋については、旅行実施日の感染状況が全く分からないため、(結果的には感染状況は最良の状態でしたが・・・) できるだけ少人数のツインを基本としました。食事については、本校単独の食事会場をお願いしました。こちらについては、当初は、朝食は他の一般客と一緒にということでしたが、ホテル側の配慮により夕食も朝食も本校だけの貸し切り会場となりました。

次に目的地です。高松泊を前提に、秋の遠足が県内となってしまいましたので、できれば近県へと考えたところ、岡山県、高知県、徳島県、愛媛県という選択肢が浮かんできました。いろいろと情報を集め、お見送りとお迎えの時間につきましても考慮し（出発は、保護者の皆様がお仕事に行かれる前に集合し、解散は、お仕事が終わってからお迎えをお願いできる夜）、比較的近距离の岡山県を1日目、2日目を琴平経由の高知県として計画したわけです。

私がしたことはここまでです。細かな計画は、旅行会社の担当者と6年生の担任が何度も何度も打ち合わせをしてこの修学旅行が実現できたのです。

右の写真は、修学旅行出発前の学校の様子です。帰った時の写真は撮っていないのですが、きっと同じ風景だったのでしょね。

